

# 財政状況

財政の健全性を示す財政指標はいずれも、早期健全化基準を下回っており健全であることを示す数値となっています。実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字決算のため、該当がありませんでした。

指標	内容	結果	早期健全化基準*
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	－ (4.98%黒字)	11.43%
連結実質赤字比率	全会計(一般、特別、企業)の赤字の割合	－ (25.13%黒字)	16.43%
実質公債費比率	年間の借入金返済額などの割合	5.3%	25.0%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)などの割合	19.4%	350.0%

※この基準を超えると国のために従い、健全化に向けた取り組みが必要になります。

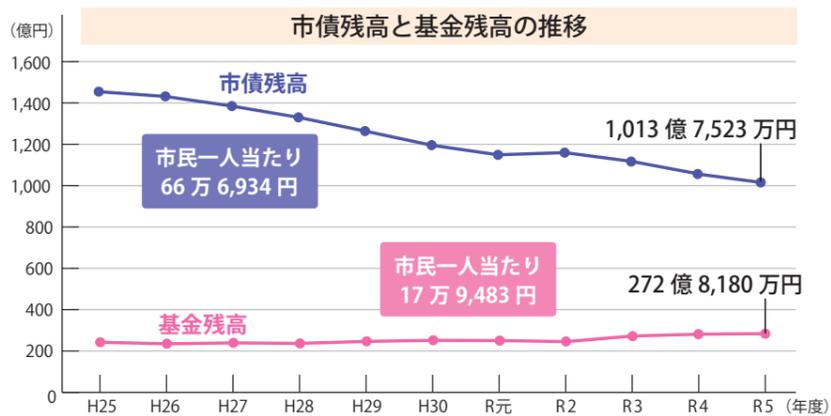
# 上田市の財産

●基金 272億8,180万円

市の貯金ともいえる基金を、令和5年度は合計で13.2億円を積み立てる一方、14.0億円を取り崩して、事業実施のために活用しました。

【基金の年度末現在高】(一般会計+特別会計)

- 財政調整基金 41億7,381万円
- その他特定目的基金 157億9,277万円
- 減債基金 51億 996万円
- 定額運用基金 22億 526万円



●市債残高 1,014億円

道路、学校、病院や下水道など社会資本整備のため市債(借入金)を活用しています。長期の借入を行うことで、財政負担を複数年に分け、計画的な財政運営を行っています。

区分	令和5年度末
一般会計	627億8,388万円
特別会計	1億 905万円
企業会計	384億8,230万円
合計	1,013億7,523万円

- 有価証券 7,102万円
- 出資による権利 27億6,535万円
- 土地 51,537,066㎡
  - 内訳: 宅地 2,263,724㎡
  - 山林 41,435,526㎡
  - その他 7,837,816㎡
- 建物(延床面積) 670,220㎡

# 特別会計

【歳入】341億円

【歳出】337億円

特別会計とは、特定の事業や資金などについて、その収支を明確にするための会計です。特別会計全体の決算額(歳出)は、前年度と比べると、0.8%、2億6,454万円の増となりました。

会計名	決算額	
	歳入	歳出
土地取得事業	2,347万円	2,347万円
国民健康保険事業	153億5,670万円	152億8,223万円
後期高齢者医療事業	23億2,852万円	22億4,640万円
介護保険事業	161億9,781万円	159億7,176万円
駐車場事業	1億2,737万円	1億2,724万円
武石診療所事業	1億1,401万円	8,708万円
合計	341億4,788万円	337億3,818万円

# 公営企業会計

【収入】144億円 【支出】163億円

公営企業会計とは、水道料金などの収益によって運営される会計です。企業会計全体の決算額(支出)は前年度と比べると、3.7%、6億2,471万円の減となりました。

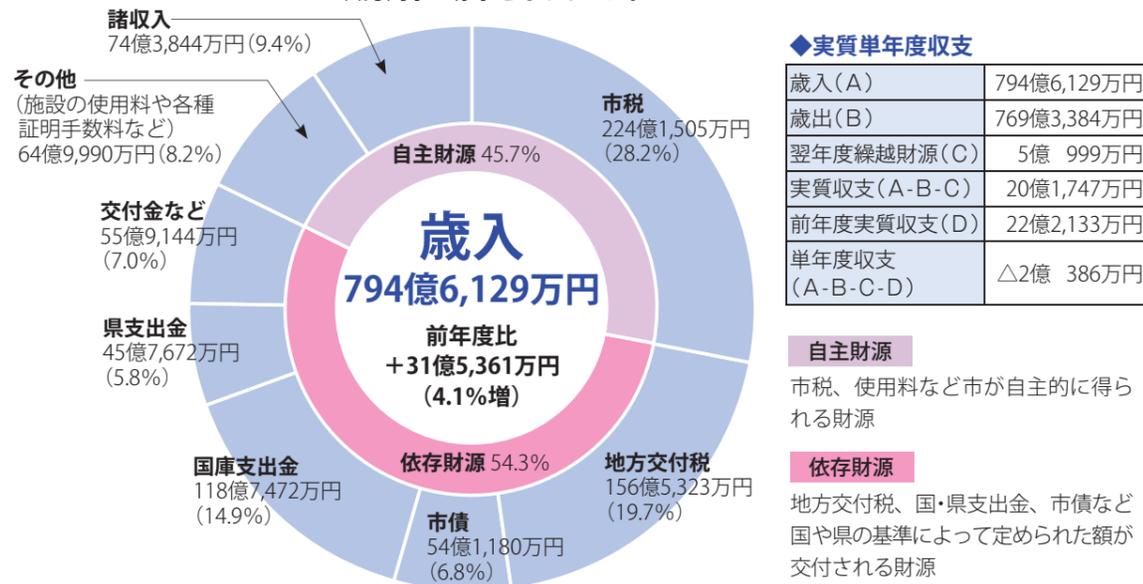
会計名	収益的収支※1		資本的収支※2	
	収入	支出	収入	支出
産婦人科病院事業	2億8,727万円	2億4,604万円	1億6,444万円	1億7,121万円
水道事業	32億9,894万円	27億2,034万円	7億 199万円	16億1,729万円
公共下水道事業	67億 635万円	48億2,811万円	12億7,103万円	47億 702万円
農業集落排水事業	15億4,404万円	11億7,667万円	4億4,181万円	8億7,180万円
合計	118億3,660万円	89億7,115万円	25億7,926万円	73億6,731万円

※1 収益的収支: 人件費、施設の維持管理費、減価償却費など経営活動に必要な経費

※2 資本的収支: 施設の整備・投資、借入金の償還金などの費用

# 一般会計

一般会計の決算は、歳入(1年間に市に入ったお金)総額が794億6千万円余、歳出(1年間に市が使ったお金)総額は769億3千万円余となり、令和6年度へ繰り越す財源5億9百万円余を除いた実質収支は、20億1千万円余の黒字となりました。この実質収支から前年度実質収支(22億2千万円余)を除いた単年度収支は、2億3百万円余の赤字となりました。



◆実質単年度収支

歳入(A)	794億6,129万円
歳出(B)	769億3,384万円
翌年度繰越財源(C)	5億 999万円
実質収支(A-B-C)	20億1,747万円
前年度実質収支(D)	22億2,133万円
単年度収支(A-B-C-D)	△2億 386万円

自主財源

市税、使用料など市が自主的に得られる財源

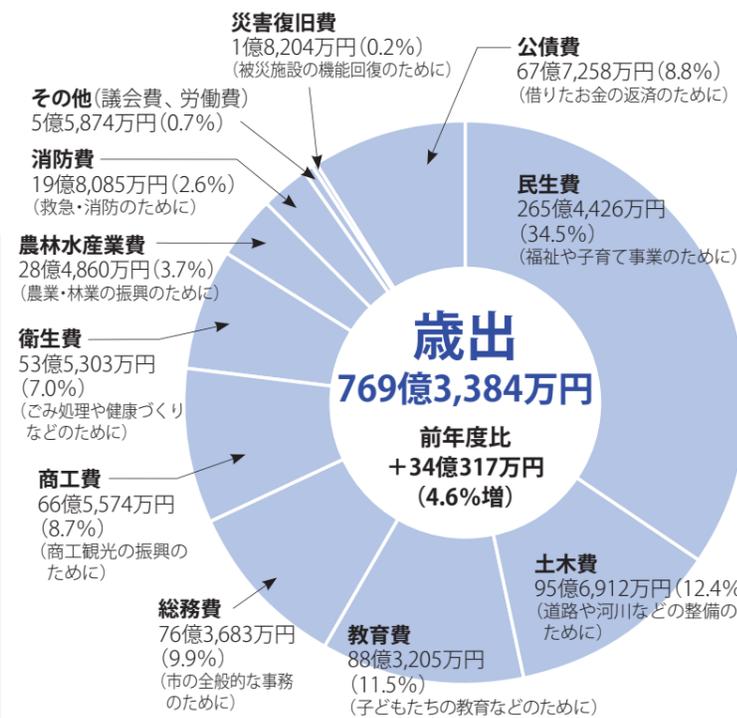
依存財源

地方交付税、国・県支出金、市債など国や県の基準によって定められた額が交付される財源

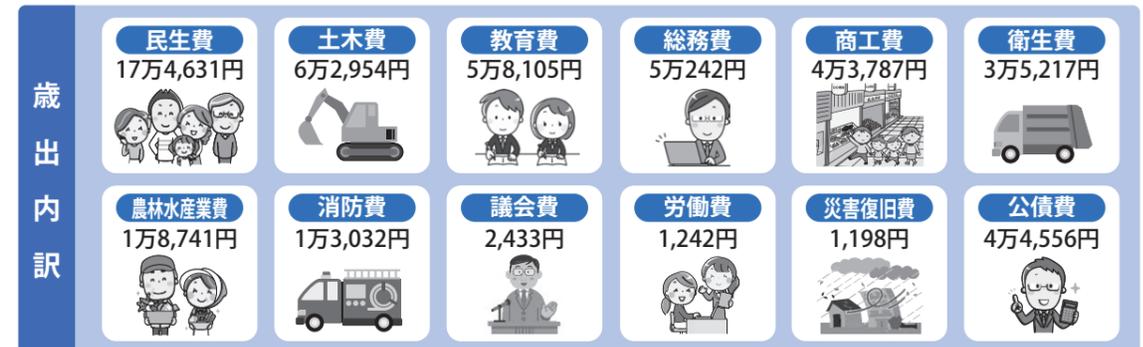
市の予算は、使う目的別に区分しています。各区分に掲載している事項は、令和5年度に実施した主な事業です。それぞれの区分に含まれる人件費は総額で118億円(歳出総額の15.3%)、道路や公共施設整備などの普通建設事業費は総額で97億円(歳出総額の12.6%)です。

令和4年度決算との比較(主なもの)

- 教育費 中学校施設整備事業費や第二学校給食センター改築事業費の増などにより前年度と比較し30億3,758万円、52.4%の増
- 民生費 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業費や民間保育所利用給付・助成事業費の増などにより前年度と比較し15億2,401万円、6.1%の増
- 土木費 市道新設改良事業費や街路整備事業費の増などにより前年度と比較し2億9,605万円、3.2%の増
- 災害復旧費 農地農業用施設災害復旧事業費や公共土木施設災害復旧事業費の減などにより前年度と比較し3億7,597万円、67.4%の減
- 総務費 市庁舎改修・改築事業費の減などにより前年度と比較し12億4,387万円、14.0%の減



市民一人当たり換算すると 歳入52万2,765円(前年度比4.8%増) 歳出50万6,137円(前年度比5.3%増)



※市民一人当たりの金額は、令和6年4月1日現在の住民基本台帳人口(152,002人)で割ったものです。

# 令和5年度の決算状況をお知らせします

令和5年度の市の決算がまとまりました。皆さんから納めていただいた税金や国・県の補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。

◎表示単位未満を四捨五入しています。端数処理のため合計額は一致しないことがあります。



決算概要の詳細は市ホームページで公表しています

財政課 ☎ 23・5113